

平成30年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	33	学校名	十津川高等学校
----	----	-----	---------

1. 取組名 十津川村交流・活性化プロジェクト

2. 活動内容

十津川村で行われる祭り等にボランティアとして参加した。主に祭りの会場設営、運営補助、祭り後の清掃活動に取り組んだ。また、村の文化祭では司会も行った。村内の各地域で行われる祭りに積極的に参加し、村内の方々と交流をしながら、祭りを盛り上げた。さらに、12月には、生徒会役員を中心に村内の4つの保育所に行き、保育所の子どもと交流した。

3. 成果と課題

祭りのボランティア活動には有志を募って参加した。夏期休業中にも関わらず、多くの生徒が積極的に参加し、ボランティア活動の意識を感じることができた。さらに、生徒はボランティアの中で、指示されたことに対応するだけでなく、自分たちにできることを自発的に考えて行動することができていた。また、ボランティア活動の後、村内の方々に感謝の言葉をいただき、自己有用感も高めることができた。

課題として、現状のボランティアは、村から依頼を受けた行事的なことへのサポートのみが中心となっていることが挙げられる。今までの活動は引き続き行いつつ、新たな取り組みを考えていく必要がある。



4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

自分に自信をもてていない生徒が多くいる本校の生徒においては、ボランティア活動を通じて、感謝される機会が多くあったことで、自己有用感を高めることができ、一定の教育効果があったと考える。また、高齢者の方が多い村内において、村内の行事に高校生が参加することで、村の活性化にも貢献できたと認識している。

来年度は今年行った祭りへの参加や保育所訪問等だけでなく、生徒が自分たちにできること・村の活性化に繋がることを考える機会をもち、生徒が自ら考えたボランティアを実施していきたいと考えている。